日本共産党の国会議員

11年ぶりの議席回復から2年

中国地方の声をまっすぐ届けて

衆院議員 大平よしのぶ（おおひら）

略歴 ●1978年生まれ、広島市出身●日本民主青年同盟中央常任委員、日本共産党広島県常任委員（青年学生部長）など歴任●広島大学学校教育学部卒●衆院議員（比例中国）１期、文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員●家族は妻と１男●広島県府中町在住。

HP

その1 国政選挙の連続躍進で35人の議員団へ

安倍暴走政治と真正面対決

追及と積極提案で国会論戦をリード

日本共産党は２０１３年からの国政選挙で連続躍進・前進し、夏の参議院選挙で国会議員は合わせて35人になりました。

２年前の総選挙で衆院議員は21人へ。すべての常任委員会に複数委員を送り質問時間も大幅アップ。安倍暴走政治と真正面から対決し、するどい追及と積極提案は国会論戦をリードしています。

憲法学者3人「違憲」発言を引き出す 大平議員

この間の最大の争点は「安保法制＝戦争法」。大平議員は憲法審査会（写真）で、憲法学者3人から「集団的自衛権は違憲」との発言を引き出し、大きく広がった国民の運動に貢献しました。

その2 市民と野党の共闘

前進・発展の大きな力に

「安保法制＝戦争法案」を阻止しようと多くの国民が立ち上がり、国会内での野党の共闘とスクラムを組んだ運動は、空前の広がりに。日本共産党の国会での議席が大きく前進したことが共闘発展の大きな力になりました。

市民と野党の共闘は、「立憲主義を取り戻そう」「戦争法を廃止しよう」という運動としてさらに前進。夏の参議院選挙では、すべての１人区で野党統一候補を擁立するまでに発展し、11人（前回は２人）が当選しました。

中国地方でも、２人区の広島県以外の４県で市民と野党が共闘。地域の共闘を広げるうえで、日本共産党の大平よしのぶ衆院議員の存在が大きな役割を果たしました。

参院選を前にした鳥取県の市民集会

若者の声が国会に届いた実感が…

日本民主青年同盟岡山県委員長
近藤 哲也

大平議員の国会での「学費負担軽減、給付制奨学金制度創設」などの質問を聞いていて、「自分たちの声が国会に届いているな」と実感できるようになりました。今後も「ブラック企業、ブラックバイトの根絶」など鋭く追及してほしいと思います。

「ヒロシマの心」を届けた国会初質問

広島県原爆被害者団体協議会
理事長
佐久間 邦彦

「ヒロシマの心を国会に」と訴えて国会に出た大平議員の初質問…私たち被爆者の気持ちを見事に代弁してくれました。

「核兵器禁止条約制定の交渉開始を求める決議」案に反対するような安倍政権に対峙して今後も頑張ってほしいと思います。

発行：日本共産党国会議員団中国ブロック事務所 岡山市中区赤坂本町１−31
電話 086(273)7747 FAX 086(272)7108 Mail jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp
日本共産党の見解を紹介します 【部内資料】
中国ブロック 検索